



第159号

編集発行

愛知学院大学
事務局 庶務課

☎ 470-0195

愛知県日進市岩崎町
阿良池12

電話(0561)73-1111(代)

平成19年度
学位記授与式

「努力を惜しまず 常に挑戦を！」

学 院 長
小 出 忠 孝

平成十九年度愛知学院大学卒業生諸君、卒業おめでとう。本学を代表して心よりお祝い申し上げます。諸君の胸の中には四年間の雪の功成り、学位記を手にする事が出来た喜びと共に、これから始まる新しい人生に対する希望に満ち溢れていると思います。

「学院大卒の誇り」

新しい人生の門出にあたり、諸君に先ず学院大卒の誇りを持って頂きたい。諸君が学んだ愛知学院は創立一三一周年を迎える、中部で最も古い歴史と伝統を持つ学園であり、大学は八学部十七学科、大学院八研究科に学生一万二千名を擁する私立の大規模総合大学です。本学では昨春グローバル英語学科、ビジネス情報

学科、現代企業学科を、今春には健康栄養学科、宗教文化学科を増設し、時代のニーズに積極的に対応する、中部の主要大学となっています。

諸君はこの様な名門愛知学院大学で、多くの優秀な先生に恵まれ学業を修め、また多くの先輩・後輩に囲まれ人間形成に努めることが出来ました。さらに諸君には社会の各界でめざましい活躍を遂げている十万余の先輩がいます。

「行学一体・報恩感謝」の教育理念のもとで、誇り高く育った学院生です。この建学の精神は宗祖道元禪師の教えであり、人間として正しく生きていく上で、最も大切な基本的精神です。本学で学んだ諸

君は一生この建学の精神を座右の銘として堅持し、社会で活躍される事を希望します。

「景気の先行き不安」

諸君が明日から門出する社会は、廿一世紀八十年目を迎えるという面で新しい時代の訪れが期待されています。しかし国際社会ではイラク、パレスチナ、アフリカ諸国等における宗教・民族・経済に根ざした紛争や対立が国際平和を脅かし、また地球環境、食糧、人口、難民など地球規模の問題も深刻化しています。この様な国際状況の下、わが国を取巻く環境にも大きな変化が来し、わが国に世界の安定と発展のため積極的に行動するよう要請されています。

一方わが国経済はバブル崩壊後の不況のトンネルから抜け出し、持続的な景気拡大への歩みを進め、現在緩やかではあるが戦後最長の六ヶ年にわたる着実な成長を続けています。しかし昨年米国で発生したサブプライム問題に端を発した金融市場の混乱は、世界同時株安、ドル安をひきおこし、米国経済に対する不安が高まっています。先日東京で開催されたG7会議でも「世界経済はより不確実な環境に直面している」と減速懸念を明確に示す共同声明を発表し

日本私学事業団理事に小出学長五選される

先日の日本私立学校振興・共済事業団の役員改選で、事業団理事に小出学長は私立大学代表として五選された。私立大学の教育研究充実のための私学助成と、全私学教職員（短期・健康保険）・長期（年金等）給付の共済事業は、私学発展のため極めて重要な任務で学長の責任は大きい。

は、チャンスに気付く力と、それをモノにせんとする意欲が必要です。諸君は本学で学んだ基本的な学力をベースに、社会の進歩発展に遅れない様に常に学習に努め、チャンスを見逃さないだけの力をつける必要があります。さらに多くの体験から、それは成功体験のみならず失敗体験を通じて「やれば出来る」の強い意欲を育み、挑戦していくことが必要です。絶えざる学習努力と、チャレンジする強い意欲によりチャンスは必ずモノにされ、有意義な人生を送られる事を期待します。

わが国は第二次大戦の廃墟から立上り、先人の涙ぐましい努力により今日の経済大国をつくり上げました。さらに現在の日本は様々な強みを持っています。一五〇兆円を超える個人金融資産、世界に誇る高い技術力、勤勉な国民性など、之らをベースにわが国が現在の繁栄を維持し発展させるのは、次の世代を担う若い諸君の双肩にかかっています。諸君にはそれを実行出来る若さと実力があり、諸君の活躍に大きな期待がかけられています。しかし諸君の将来は安易な道ばかりでなく、厳しいものもあります。長い人生で順調の時に決して奢る事なく、また逆に不遇の時にも決して挫ける事なく、いつか巡りくるチャンスを見逃さず全力をあげて挑戦して欲しい。社会のため奉仕する気持を持ち続け、努力精進される事を切望します。

「チャンスを活かす」

しかし諸君が明日から船出する社会は、変化が激しく厳しい状況になる事もあります。さらに社会では活動の手引きとなる教科書や、進むべきレールがあるとは限りません。また正解が一つとは限らない複雑な社会です。色々な課題に向きあった時、如何に対処すべきか熟慮し、最善を尽くす努力が必要です。長い人生では好調の時も不運の時もあります。しかしチャンスはすべての人に平等に訪れるといわれます。ただチャンスが巡ってきた時、本人次第でそれ

に気付かない人、チャンスと解ってもそれを活用できない人、チャンスを確実にモノにする人に分かれます。チャンスを確実にモノにするために

卒業を祝して

大学後援会会長

若尾治実



ご卒業おめでとうございませう。そして皆さんを今日まで暖かく見守ってこられましたご父母の喜びもひとしおだと思ひます。重ねてお祝い申し上げます。また、ご子女が在学中には、大学後援会の活動に、深いご理解とご協力を賜りましたこと、後援会を代表して厚く御礼を申し上げます。卒業生の皆さんは、日本の経

恭倭己を持す 夢、希望に日付を

愛知学院大学
同窓会連絡協議会会長
商経会会長

加藤勇夫



学業の功なり、晴れて卒業される皆さんに心からのお祝いを申し上げます。諸君は、本学の建学の精神のもと、多くの先生から教授された尊い学識を修得されたとともに、豊かな人間形成に努め、自分の世界を広められたことに敬意を表します。

済が回復基調の絶好期に将来の進路を決め、卒業を迎えられました。しかし、日本の経済は、昨年後半からの原油価格の高騰、サブプライムローン問題をきっかけに株価の下落、円高と経済情勢が混沌としてきた中での船出になりました。皆さんがこれから活躍しようとする社会は急速な変化、進歩を遂げており、それらの変動に常に対応していかなければなりません。幸いにも皆さんは、在学中にそれに対応するに必要な基礎的な学力、知識を身につけられたことと思ひます。その豊富な知識を知恵に変えることができれば、多様に変化する現代社会に的確に対応ができるものと信じています。もう一つ、皆さんにとって大きな味方、それは大学が掲げる「行学一体・報恩感謝」の建学の精神を学んだ事と言えましょう。

小学校以来雪十六年もの歳月をかけて学んだ知識が実学となるかどうかは、これから進む社会での努力によって真価が問われるところです。人生は、生涯かけて自己研鑽に努め、修練に励む場です。わが国社会は、急速でドラスティックな変革の時代を迎えています。皆さんは、希望と不安を胸に交ぜながら、こうした社会に入っていくわけですが、学生から社会人への大きな節目は、自らを大きく飛躍させる絶好のチャンスです。成長するには絶えず努力を続けることです。社会は、学生時代とは異なっており、自分と他人の中心がずれる異次元の社会です。自分の実力の真価が問われます。他人との競争よりも、まず自分の決意とたたかひに勝ち、存在感のある人間に成長して欲しいのです。皆さんの持つ純粋

この建学の精神を学んだことにより、感謝や思いやりの心をもって他人と向き合うことが出来、心豊かな社会人として実践できる「かしこさ」を身につけられたことと思ひます。そして皆さんと同様にこの精神を学んだ十万余の多くの先輩が、全国で又、様々な業界で活躍をされていて、皆さんのことを常に暖かく見守って頂いていることです。そうした好条件の中、皆さんは船出をされますが、しかしながら皆さんを取り巻く環境は容易な時ばかりではありません。厳しい時は幾度となく訪れることを覚悟しなければなりません。そうした時にも自分の目標を失うことなく目標に向かって一歩を踏み出す強い意志を持ってくれることを望みます。皆さんの大いなる活躍を願ひお祝いの言葉と致します。

「恭倭己を持す」と言います。決して順境に驕らず、自信の中に絶えず謙虚さをもつて、積極的に多くのことを学び、積み重ねて下さい。皆さんには、心身の健康に留意され、決して小さな打算に固執せず、学生時代以上に高く、遠くを望んで、知的好奇心、他人への優しい思いやりを持ち続け、見事な人生を築かれることを願っています。本学を卒業し、全国的に幅広く活躍する一〇万五千名の同窓生は、皆さんの社会での活躍をいつも温かく見守っています。どうか、母校、ゼミナール、クラブ・サークルなどを心のふるさととし、いままです以上に母校愛、同窓意識を深めて、社会で光り輝くようお祈りします。

卒業生へ贈る言葉 (平成19年度)

日本を変革する ビジネスヒューマンに

皆さんの卒業おめでとう。卒業を心からお祝い申し上げます。皆さんがこれから旅立つ社会とつなぐビジネス社会は、想像していた以上に厳しく、辛いかもしれません。しかし学生時代の経験と商学部で学んだ知識を総合し、知恵に変えることができれば、何も恐れることはありません。

平成19年を象徴する漢字は「偽」でした。それは最近のビジネス界を反映したものです。本当に誠意を込めて、人間として本来有すべき倫理観や正義感が欠如し、利己的な欲望に従い、「儲かりさえすればいい」という風潮の現れでしょう。

本学は「行学一体・報恩感謝」を建学の精神として、人間形成を目指してきました。加えて、商学部では単なる従来型の「ビジネス・ヒューマン」ではなく、自然や世界との共生の心を持ち、常に正邪の判断を自分に課しながらビジネスに携わる人間(human)、すなわち「ビジネス・ヒューマン」を教育目標としてきました。

「感謝の気持ちを 抱いて生きる」

皆さん卒業おめでとう。愛知学院大学法学部でのキャンパスライフはどのようなものであったでしょうか。入学前に抱いていた夢は実現しましたか。学問はもちろん、クラブ活動やゼミ等での思い出をたくさん詰め込んだ旅立ちを心から祝福します。

これまで、六法を中心に様々な学問を学んできました。定期試験やレポート作成のために学んだ細かい知識の大部分は、次第に忘れ去られていくことでしょう。しかし、大丈夫。法学部卒業生全員が、法的思考法(リーガルマインド)という大きな力を身につけてきました。この言葉は、抽象的で入学時にはよく理解できなかったかもしれませんが、今なら理解できるはずです。どうか、この力を公正な社会を実現するために使ってください。

皆さんが修得したリーガルマインドは、行学一体・報恩感謝という建学の精神に裏打ちされています。どのような職場においても、努力は評価されます。それがモチベーションを高め、感謝の気持ちを芽生えます。感謝の気持ちを抱きつつ、さらに精進を続けていく中で、これが建学の精神であると感じる瞬間が必ず訪れるはずです。



商学部長
田畑康人

「誠実に自分の 個性を活かす」

大学生活を終え社会へと巣立られる卒業生の皆さん、卒業おめでとう。文法学部を代表して心からお祝い申し上げます。

大学の文学部は、豊かな心や知力を育む人間形成の場でありました。皆さんはそれぞれの学科で専門の知識を身につけ、先生方との出会いや友

達との交流のなかで、自分自身についての多くの発見があったことでしょう。これからは四年間の学生生活で学んだことを無にすることなく、目指すそれぞれの新しい目標に向かって、実りある人生を切り開いてください。

経験は知の泉です

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。さて、この一年間、不二家の騒動に始まって、農業混入餃子まで、「食」の不安が絶えない一年でした。とはいえ、消費期限や賞味期限を少しでも過ぎた食品は販売もできない。それらを少しでも変更することは許されません。そうした風潮がマスコミを通じて広

げられているようにも思えます。もちろん、最初に提示した期限を後から変えることは許されません。しかし、消費期限や賞味期限は企業が独自の基準で決めているものです。期限を過ぎた瞬間、ゴミにするということなのでしょう。

インターネットの普及に伴って、大量の情報を手軽に入手できるようになりました。それに伴って、他者が発信した情報に盲信する行動が目立つ社会になってきています。消費期限や賞味期限は消費者が自分の行動を決めるための目安ではありません。イン



文学部長
黒田安雄

力を持続する心構えを忘れないようにしたいものです。世の中は全て人と人との繋がりで成り立っています。出会いから情報交換や相互理解が生まれ、そのネットワークが強いほど自分の仕事の幅が広がります。長い人生のうちには挫折や失敗もあるでしょうが、物事に真面目に取り組めば、必ず道は開けます。自分の仕事を生活への責任をきちんと果たし、誠実に自分の個性を活かすことです。皆さんが有為な社会人として活躍してください。

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。さて、この一年間、不二家の騒動に始まって、農業混入餃子まで、「食」の不安が絶えない一年でした。とはいえ、消費期限や賞味期限を少しでも過ぎた食品は販売もできない。それらを少しでも変更することは許されません。そうした風潮がマスコミを通じて広

経験は知の泉です

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。さて、この一年間、不二家の騒動に始まって、農業混入餃子まで、「食」の不安が絶えない一年でした。とはいえ、消費期限や賞味期限を少しでも過ぎた食品は販売もできない。それらを少しでも変更することは許されません。そうした風潮がマスコミを通じて広

げられているようにも思えます。もちろん、最初に提示した期限を後から変えることは許されません。しかし、消費期限や賞味期限は企業が独自の基準で決めているものです。期限を過ぎた瞬間、ゴミにするということなのでしょう。

インターネットの普及に伴って、大量の情報を手軽に入手できるようになりました。それに伴って、他者が発信した情報に盲信する行動が目立つ社会になってきています。消費期限や賞味期限は消費者が自分の行動を決めるための目安ではありません。イン

「旭日重光章」受章の小出学院長に 曹洞宗管長祝下より表彰状

小出忠孝学院長・学長は、昨年秋の叙勲にて私学振興の功労顕著により「旭日重光章」(旧勲2等旭日重光章)を受章し、昨年11月6日宮中に参内「松風の閣」にて福田内閣総理大臣より一人ずつ勲記・勲章が伝達された。続いて「宮中豊明殿」にて天皇陛下の拝謁があり、陛下より親しくお祝いの言葉を賜った。この受賞に対し、福山詔法曹洞宗管長祝下より第1号の表彰状及び記念品が小出忠孝学院長に授与された。



19年度 学位記授与式
学位記授与式で送られる各受賞者、小出有三賞、学長賞の各受賞者はつぎのとおり。

【学長賞】	
宗教学科	佐藤 清道
歴史学科	有賀 裕子
国際文化学科	丸山 晃世
日本文化学科	山本 一穂
商学科	古井 康晴
産業情報学科	加藤 千尋
経営学科	江崎 志乃
国際経営学科	堤 麻衣子
法律学科	太田 志保
現代社会法学科	横井 友美
情報社会政策学科	丹羽 景子
健康科学科	高藤 由佳
歯学部	田中美奈子
【学長賞】	
宗教学科	鳥羽 元枝
歴史学科	大西 景子
国際文化学科	岩谷美奈子
日本文化学科	木村真梨子
商学科	山田由美子
産業情報学科	尾崎 弘明
経営学科	大川 佳世
国際経営学科	蘇 寧
法律学科	城田 航児
現代社会法学科	伊藤 麻美
情報社会政策学科	高畑 雄介
健康科学科	石田 友梨
歯学部	久野 彰弘
留學生別科	中村 通良
【商学部臨床実習優秀賞】	山田真由美
商学部	倉岡 美生
日本文化学科	島岡 由美
兼山 彰宏	
商学部	澤本 邦彦
産業情報学科	岩田 智史
経営学科	板井 廉
国際経営学科	佐々木 珠恵
法律学科	舞 映智
現代社会法学科	伊藤 基生
情報社会政策学科	金森 知美
健康科学科	古田 奈子
歯学部	楠瀬 夏樹
留學生別科	森月 義雄
【商学部臨床実習優秀賞】	福井 真由子
商学部	杉浦 絵里子
日本文化学科	劉 瑜
兼山 彰宏	
商学部	後藤 明彦
産業情報学科	青山 健太郎
経営学科	木村 将士
国際経営学科	加藤 大貴
法律学科	堀部 智進

道元禪師の三つ心
喜心 老心 大心

「典座教訓」にあることばで、道元禪師が典座(てんざ)で、食事の献立や調理をつかさどる役)に説いた心構えである。どんな人にも心がけてもらいたい内容であり姿勢である。

喜心(きしん)は喜びの心。人間は利己的で物事を欲望の物差で測る。そのために争いがおこったり不満が出る。

老心(らうしん)とは父母の心、子を思う親心。何事も親の身になって思いやる心である。

大心(だいしん)とは周囲の状況に流れることなく不動の心である。大山のようにどっしりと、大海のように広々と

しかし、何事にも感謝の気持ちをもつことによって喜びの心がわいてくる。

老心(らうしん)とは父母の心、子を思う親心。何事も親の身になって思いやる心である。

大心(だいしん)とは周囲の状況に流れることなく不動の心である。大山のようにどっしりと、大海のように広々と

この三つの心を忘れずにあたれば、何事も正しくできる。同じ条件で同じ状況の時は二度とない。一期一会(いちごいちえ)である。だからこそ今を大切に、三つの心を忘れずに務めていきたいものである。

(川口高風)

就職体験記

卒業生へ贈る言葉 (平成19年度)

「東邦ガスに
内定して」

商学部商学科4年
サッカー部
山本真一

私が就職活動を始めたのは、みんなが慌しく活動始めてからで、就職活動には少し遅い11月ごろから真剣に取り組みました。

始めたきっかけが、そろそろ危ないなと友達に誘われて行った、学校で行われた企業説明会でした。それまでは、ポヤッと就職のことを考えていたのですが、その説明会で東邦ガスに出会い、この会社に本気でいきたいと思うことができました。

でも愛知学院からは今まで東邦ガスに就職した人があまりいない。という話を聞いたり、採用される倍率がかなり高いという話を聞いたりして、あきらめそうなる時もありました。そんなほとんど先輩がいない企業に無茶と思われるような就職活動に取り組んでいたのですが、学校の友達やサッカー部の先輩や監督、キャリアセンターの皆様、そして両親が親身になって一切茶化さなく、大きな企業にチャレンジしていくことに真剣に相談に乗ってもらえたのでとても心強かったです。

東邦ガスの試験過程は、計7回に渡って審査を受けてきました。どの試験も緊張の連続でした。でも本当に行きたい会社でしたから、準備不足で後悔するのだけは絶対イヤだと思っていました。東邦ガスの受験で最終的にはノート2冊分ぐらい会社研究や、勉強をしました。やれるだけのことはやったという自信が、面接の表情にもでたと思います。

面接では明るくハキハキ話すのはもちろんですが、嘘をつかないことが一番大事だと思います。東邦ガスの最終面接で急に「自分の長所1つと短所3つ教えてください。」といわれ、長所1つは前から準備してあったので、すぐ答えることができました。しかし、短所を3つも用意してなくて焦りましたが、嘘をついて入社しても後々大変だと思いましたし、正直に話ことにしました。それは

1. 緊張しやすい
 2. 計画性がなく、すぐ行動にうつして失敗する
 3. 長い間机に向かって作業ができない
- の3点でした。面接官4人に大笑いされましたが、飾らない素直さがいいと、逆にほめてもらいました。面接では自分を良く見せようとしても、面接官にはさっと見破られてしまうと思います。ありのままの自分を受け入れてくれる、懐の深い会社を探すべきだと思います。

面接や筆記試験には絶対遅れちゃいけないという意識と、家でじっとしていられない性格のおかげで、毎回集合時間の30分～1時間前には会場入りしていました。どの会場でも必ず1番乗りで、その時間が緊張をはくしてくれ、いい精神状態で面接や筆記試験に望めました。そして早く行く1番の利点は、多くの友達ができ、より多くの情報交換をすることができたことです。残念ながら可愛い女友達はできなかったのですが、東邦ガスの2次面接の控え室で友達になった方と毎回頭ましあい、共に内定を勝ち取ったときは嬉しさも2倍でした。

就職活動中は寝ても覚めても就職のことばかり考えていました。そんなとき静岡に住む実家の両親は、毎週のように心配して電話やメールをくれました。「就職活動頑張るのだよ。」ではなく、「就職活動あんまり頑張らずに体調壊すなよ」と、言われたのが印象的でした。自分は沢山の人の支えられているのだということが、就職活動と部活動の両立に繋がったと思います。

就職活動中は悩むことも、不安なことも沢山ありました。社会の厳しさや自分の未熟さもすごく感じました。それを全部含めたとしても、今では就職活動はよい経験となり、とても充実した楽しい思い出となっています。

「自分を
見失わないこと」

文学部
日比野朝子

「憧れの夢への挑戦」これが私の就職活動のスタートラインであり、落ち込んだ時の励ましの言葉でした。厳しいエアライン業界の選考に残ることは、とてもプレッシャーでした。何万人の中からの書類審査を突破するため、インパクトのあるエントリーシートに仕上げるのが、一つの壁でした。簡潔に、そして面接官に「この子と会ってみたい」と思ってもらえるような文章を作るために、先生や友人に読んでもらいました。目指す企業は違えど、お互いの文章を読み合うことは、良い刺激になります。面接では、自分の魅力を自分の言葉で伝えることを最重視しました。グループ面接においては、質問に対して隣の方と同じ内容になってしまいうこともありました。しかし、1人1人伝え方や話し方は異なります。慌てて変える必要はありません。自分の言葉で気持ちを伝えて下さい。「自分は自分、他人は他人」です。自分に自信を持ってください。まずは自分の良い所を探してください。これだけは絶対負けたくないと思えるものを。私は「笑顔」です。ありがちなアピールでも立派な魅力であると、自負しています。そして就職活動を楽しんで下さい。第1希望の会社から内定を戴ける喜びを味わって頂きたいです。

「自分を信じよう」



心身科学部長
佐藤祐造

平成十九年度の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

心身科学部は、人間の健康を心理面と身体面の両面から心身科学という総合的、統合的な枠組みの中で説明していく学部として設置されました。すなわち、心身科学部は昭和四十五年に開設されました。

文学部心理学科を平成十五年四月に心身科学部心理学科に改組し発足しました。

平成十六年四月には、厚生労働省の推進する「健康日本21」に関連し、メタボリックシンドロームや糖尿病などの生活習慣病およびその予備群を中心とした半健康な状態の人に、より高い健康度、活動能力と生活の質(QOL)の向上を目指した健康づくりを指導できる人材育成を目指し、健康科学科が発足しました。

したがって、健康科学科の皆さんは第一期の卒業生ということになります。

皆さんはご卒業後、一般企業や行政、教員などに就職されたり、大学院への進学等、様々な進路に進まれます。

四月から就職された新しい職場では、対人関係をはじめ多くの「カルチャーショック」を受け、軽いうつ状態になる方も少なくないと思います。

私は四年間、健康科学科の皆さんに講義やゼミを行って来ました。皆さん優秀な方ばかりで、自信を持って良いと思います。自分が苦しい時には、他人も苦しい思い、がんばりましょう。

皆様の健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

時 同 啐 啄



英語コミュニケーション
学科・科長
羽多野正美

私は毎年この時期になると卒業生の皆さんに贈る言葉を書いてきました。今年は英語コミュニケーション学科最後の年になりましたから贈る言葉も最後になります。

「啐」とは、雛が卵の殻を割って生まれ出ようとして卵の内側からくちばしで殻をたたくことをいいます。「啄」とは、雛が卵から生まれ出るのを助けて親鳥が卵の殻を外側からくちばしでたたくことをいいます。雛と親鳥の呼吸がぴったり合って卵の殻を同時にたたくことができたときに、めでたく卵が割れて雛が生まれるというのが「啐啄同時」という言葉の意味です。

皆さんはこれまでにいわば卵の中の雛のような存在でした。何かを求め、何かに行き詰まったときに皆さんは卵の内側から殻をたたきました。そのようにとき、いつも親や先輩や友人や先生たちが皆さんを助けて卵の外から殻をたたいてくれたのです。その積み重ねで皆さんは成長し、今日という

の助けて親鳥が卵の殻を外側からくちばしでたたくことをいいます。雛と親鳥の呼吸がぴったり合って卵の殻を同時にたたくことができたときに、めでたく卵が割れて雛が生まれるというのが「啐啄同時」という言葉の意味です。

皆さんはこれまでにいわば卵の中の雛のような存在でした。何かを求め、何かに行き詰まったときに皆さんは卵の内側から殻をたたきました。そのようにとき、いつも親や先輩や友人や先生たちが皆さんを助けて卵の外から殻をたたいてくれたのです。その積み重ねで皆さんは成長し、今日という

う巣立ちの日を迎えることができましたと言えます。

社会に出ると、皆さんは卵の外から殻をたたく立場になることも多いでしょう。そんなとき、卵の中から自分が生まれ出ようとしていたときの気持ちを思い返して、やさしく、そしてタイミングよく卵の殻をたたいてあげて下さい。そうすれば、素晴らしい雛がたくさん生まれるでしょう。それと共に素晴らしい人間関係が生まれると思います。周りの人を愛し、周りの人から愛される人として、「啐啄同時」を胸に愉快な社会生活を送って下さい。

新たな
出会いをおして
大いに成長を

総合政策学部長
新海英行

ご卒業おめでとうございます。4年間をふりかえると、みなさんにはいろいろな出会いがありました。

まず第1に、友人との出会い。クラブやサークルで知り合った先輩、同輩、そして後輩です。さらに、ゼミで議論し、実習で体験学習に取り組んだ仲間たちです。こうした仲間たちの交流とおして

みなさんは成長してきたのです。彼(彼女)らの中には、ずっと長い人生にあって支え、支えられる無二の友となる人があるにちがいないと思います。

第2に、教職員との出会い。講義やゼミでは多くの先生方から教養を受けました。そして教養や専門の授業をとおして先生方の人生観や社会観にふれ、みなさんのこれからの生き方が方向づけられたと思います。教務課、学生課、キャリアセンターなど、事務職員の方々にも大変お世話になりました。本学を晴れて巣立つことができるのも教職員の方々の陰だということに

忘れてはなりません。

第3に、学問(科学)との出会い。まさに「知は力」(F・ペーコン)です。学問との出会い、その基礎にふれたことはこれからの社会人として充実した生き方を選びとっていくうえで大きな力となるものだと思います。誠実な職業人として、また賢明な生活者としてもみなさんの「生きる力」の源泉となることでしょう。

以上3つの出会いはみなさんにとって貴重な財産です。卒業証書よりも価値があるかもしれません。この財産を手元に新たな出会いを求めて社会に羽ばたいてください。

国民の健康に
貢献できる
歯科医をめざして

歯学部
野口俊英

平成十九年度の卒業生の皆さん、難関の歯学部卒業、誠におめでとうございます。六年という長きにわたり苦学したことが実を結び、いよいよ一人の社会人、歯科医としての第一歩を踏み出すことに対し、心より御祝い申し上げます。

歯科界は歯科医師過剰、国立

大学の法人化に伴う歯学部の縮小傾向など、困難な状況を迎えています。このような時こそ、国民の健康に貢献し得るような高度な技術と高い心を持つ患者さんに対応することが重要だと思います。

さらに、私の専門分野である歯周病を始めとする歯科疾患が近年になりある種の全身疾患と何らかの関連性があるのではないかと報告が多くなされていきます。もし、これらの関連性がエビデンスをもって証明され medical foodや国民に受け入れられれば歯科界の未来は洋々たる

ものになると思います。また、歯科の分野における再生療法や、インプラント治療、レーザーなどに代表される新技術の発展は目覚ましいものがあります。卒業後も常に新しい技術や知識を受け入れるという姿勢を失うことのないようがんばっていただきたいです。

幸い、愛知学院大学は教育、研究、臨床のどれをとっても全国歯学部トップレベルにあります。これまでの学生時代の経験を生かし、大いなる夢をもって前進することを希望しまして私の御祝いの言葉とさせていただきます。

名誉教授称号授与

本校教授会は、平成20年3月31日付で定年退職を迎えられる、鈴木哲雄文学部客員教授他6名に、4月1日付で名誉教授の称号授与を決定した。

昭和四十四年駒澤大学大学院人文科学研究科仏教学専攻博士課程満期退学後、本学一般教務部講師として着任。翌四十五年四月文学部の増設とともに新設された宗教学科の講師になられ、四十八年助教授、六十年教授に昇任された。学内にあっては文学部教務主任、大学院文学研究科主任、人間文化研究所所長などを歴任され、三十八年間にわたり本学の発展に貢献された。学外にあっては昭和四十五年日本印度学仏教学会賞を受賞され、昭和六十年には「唐五代禅宗史」の研究で駒澤大学から文学博士の学位が授与された。日本宗教学会評議員、日本印度学仏教学会理事、日本仏教学会理事などともつとめられ、学問研究の発展にも多大の尽力をされた。

昭和四十一年京都大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程満期退学後、島根大学専任講師を経て、昭和四十五年本学文学部心理学創設とともに、助教授として赴任。昭和五十七年に教授に昇任された。平成十五年心身科学部設置に伴い、心身科学部心理学科に移られ、今日に至るまで長年に亘り、専門の社会心理学を担当され、同分野に関する教育研究を精力的に推進された。その間、大学院文学研究科心身科学研究科を担当され、昭和五十六年から二年間文学部教務主任、昭和五十八年から五年間文学研究科主任を務められ、本学の発展に貢献された。また日本社会心理学会理事を多年に亘り務められ、昨年、日本社会心理学会名誉会員に推戴された。

昭和三十七年三月、早稲田大学大学院法学研究所博士課程を単位取得退学後、早稲田大学法学部副手を経て、昭和三十八年四月、本学法学部に専任講師(行政法担当)として着任。昭和四十四年十月に助教授、昭和四十七年四月に教授昇進。爾来、四十五年の永きにわたり法学部と大学の発展に貢献された。学部では、行政法を様々な補助教材を使用し、わかりやすく教授する一方、大学院では、きめ細やかな税法指導に当たられ、多数の税理士を輩出した。研究面では、イギリス法を比較法として、わが国の行政法の理論と実務を総合的に把握した点が学界で高く評価された。名古屋事情報公開制度審議会委員を務められるなど、社会的活動にも尽力された。

昭和四十三年三月、中央大学大学院法学研究科博士課程を単位取得退学後、函館大学商学部専任講師、助教授を経て、昭和四十七年四月、本学法学部に助教授(民法担当)として着任。昭和五十二年五月、教授昇進。昭和六十二年から二年間の法学部長、平成元年から四年間、平成十五年から二年間、計六年間の宗教法研究所所長、平成十年から四年間の大学院法学研究科長を歴任し、本学の発展に貢献された。その間、学部・大学院における教育の充実に寄与され、学位(博士号)取得者を育成。フランス法を比較法とする物権法に関する研究成果を多数発表して学界で活躍された。昭和六十年には、「仏非占有動産質制度の研究」で中央大学から法学博士の学位を授与された。

昭和三十九年早稲田大学大学院法学研究科修士課程を修了。同年本学法学部に助手として赴任。四十四年同講師、昭和四十五年同助教授、昭和五十二年同教授となられ、平成十七年、大学院に法務研究科(法科大学院)が設置されると同時に法学部から法科大学院に移られ、研究科長を務められた。また、昭和六十年から六十二年まで法学部長、平成四年から平成十四年まで学生部長、平成十四年から平成十六年まで大学院法学研究科長を務められた。また、昭和六十年から現在に至るまで、学校法人愛知学院評議員を務められている。愛知学院大学在職は四十四年にわたり、長期間、大学の重要な役職を歴任された。昭和六十二年法学博士(神戸大学)。

岩城教授は44年に渡り本学並びに商学部の発展に寄与された。岩城教授は昭和35年に早稲田大学大学院経済学研究科修士課程を修了し、同39年4月に本学に着任。同42年に助教授、同53年に教授昇格。その間に英国サセックス大学で研鑽され、ケンザニア政府の要請で州開発計画のリーダーとしても活躍。岩城教授は開発経済学を専攻、アジア・アフリカ研究の第一人者として活躍された。研究業績は著書「単著5編、共著11編、学術論文97編に上り、1982年出版の『アフリカの自立化と経済』は今でも高く評価されている。学会では、日本貿易学会会長などを歴任し、商学研究科では多数の留学生を受け入れ、本学の国際交流にも大きな貢献をされた。

水谷允一教授は38年に渡り本学並びに商学部の発展に寄与された。水谷教授は昭和36年明治大学大学院経済学研究科修士課程単位取得満期退学の後、同44年4月に商学部助教授として赴任され、同54年に教授昇格。その間、教務主任やワシントン州立大学で海外研修も経験。水谷教授の教授歴は客員教授を含め29年に及び、研究業績も著書・単著10編、共著4編、学術論文14編に上る。平成3年に同文庫から出版された「戦後日本経済史―生産・流通・消費構造の変化―」は、中国語にも翻訳された。学会では日本消費経済学会理事、副会長を歴任。また、クラブ活動でも水泳部、準硬式野球部など多数の顧問部長を務め、その面でも多大な貢献をされた。



文学部客員教授
鈴木哲雄



心身科学部教授
早川昌範



法学部客員教授
利光大



法学部客員教授
伊藤英樹



大学院法務研究科教授
湯浅道男



商学部客員教授
岩城 剛



商学部客員教授
水谷允一

小出忠孝学長 旭日重光章受章祝賀会

—小出学長の荣誉に乾杯!800名が祝う—



小出忠孝学長が私学の経営、教育振興の功績顕著によって受賞された旭日重光章の荣誉を記念して、祝賀会が、2月13日(水)、名古屋観光ホテルで盛大に開催された。来賓、教育界、産業界、政界、官公庁、大学後援会、同窓会、友人関係などから800余名が出席し、小出学長を祝った。

祝宴は、青山紀子・東海ラジオアナウンサーの司会で進められた。まず、発起人代表の鈴木礼治・(財)愛知県国際交流協会会長、前愛

知県知事のあいさつ、福山諦法・曹洞宗管長親下からの表彰状の授与に引き続き、海部俊樹・元内閣総理大臣、清水潔・文部科学省高等教育局長、大沼淳・日本私立大学協会会長、神田真秋・愛知県知事、松原武久・名古屋市長から、小出学長の数々の功績を称える祝辞が述べられた。ついで、小出忠孝学長が謝辞を述べ、川口文夫・中部経済連合会長、中部電力(株)取締役会長の乾杯のあと、祝宴に入った。小出学長夫妻を囲んで、歓談の輪がいつまでも広がり続け、大盛会となった。最後に清水定彦・東邦ガス(株)前会長の閉会のあいさつで、祝宴は終了した。

又、2月25日(月)に名古屋ガーデンパレスにおいて、学内者対象の旭日重光章祝賀会が開催された。当日約400名の学内教職員および本学OBが出席し盛大に小出学長を祝った。

小出学長は名古屋大学医学部卒業の医学博士で、昭和36年に愛知学院大学が中部地区で最初に歯学部を設立した後、昭和38年に学校法人愛知学院理事に就任。その後、愛知学院大学歯学部教授、学校法人学監、大学副学長などを経て、昭和63年1月に愛知学院長、愛知学院大学学長、専門学校長に就任し、現在に至っている。

その間、愛知学院大学は全国規模の総合大学へ大きく発展し、現在は8学部16学科・大学院8研究科、学生約1万2000人、教職員1000余人を擁するに至っている。

また大学審議会や大学設置・学校法人審議会など文部科学省関係の各種審議会・委員会委員をはじめ厚生労働省関係、大学関係、愛知県やスポーツ関係、その他の要

職を歴任している。長年の教育振興功勞に対し藍綬褒章、短大教育功勞者表彰、愛知県教育功勞者表彰など数々の表彰を受け、宮中参内、春秋の「赤坂御苑園遊会」招待も数度に及んでいる。「旭日重光章」の受章は、こうした私学教育振興の功績によるもので、私学人としては最高の荣誉である。小出忠孝学長のますますのご健勝とご活躍を祈念する。

モーニングセミナーのDVDを名古屋市に寄贈

小出学長が平成20年1月17日、市役所に松原武久市長を訪ね、「愛知学院大学モーニングセミナー」を収録した平成18年度全13巻のDVD20セットおよび概要の240冊子を名古屋市の図書館に寄贈した(写真)。小出学長は本セミナーは「偶然に聞いたお話が人生を変える」...このような経験をしてみたいと考え、この地区の大学教授ら第一線の研究成果を皆様に講演してもらうことを目的に企画した。「開催すると第1回から200名を超える参加者で、回を重ねるごとに参加者が増えている。」とこのセミナーの意義について松原市長に述べた。セミナーは毎月第2火曜日の午前7時から楠元学舎110周年記念講堂で2006年4月から始まり、講演は健康や古典文学、スポーツ、自然科学などさまざまなテーマで行なわれており、通学前の学生さんや通勤前の会社員およびお年寄りらに喜ばれている。

参加者からももう一度聞きたい、参加できない人々からはビデオで講演内容を見ることができないかなど多くの意見が大学に寄せられていた。この対策を考えていたところ、平成19年度文部科学省「新たな学習ニーズへの対応」プログラム支援経費(半額は大学負担)に採択され、この費用により平成18年度全13巻のDVD20セットおよび概要240冊子を寄贈することになった。

松原市長は「生涯学習の推進に理解をいただき、深く感謝します」と語り、市長より感謝状が贈られた。寄贈したDVDは1月19日から、名古屋市全20ヶ所の市立図書館で貸し出されている。

地域への貢献が大学の使命の一つと叫ばれている折、本学が主体となって、各大学の持っている知識や知恵を地域に提供できれば、大学としてこの上ない喜びである。

なお、セミナーの内容は1月17日から
本学ホームページ[<http://www.agu.ac.jp>]に
アクセスし、ストリーミングWebサイトにて動画で見ることができます。

平成20年度春季公開講座

総合テーマ「なおす・ふせぐ・そだてる」

平成20年度春季公開講座のテーマが「なおす・ふせぐ・そだてる」に決定しました。

日程は平成20年5月17日から6月21日までの毎週土曜日にあります。

今回の総合テーマは、現代の社会生活上で気になることを分かりやすく提供していきます。病気・怪我の治療はもちろんのこと、病気にならない・怪我をしない方法を考えること、そして学ぶことはとても重要なことです。そのことは医療・教育に限りません。日常生活や経済活動など、あらゆることに通じています。治療法・防衛策・教育法などについて本学の教授陣の中から厳選した方を講師として、お話をさせていただきます。

公開講座委員長 高木敬一 (法学部教授)

講座の申込期間は4月1日から14日まで

	月/日	テーマ	講師
①	5/17	企業の人材育成 —求められる従業員の自律的対応—	大橋 靖雄 (おほし やすお) 経営学部教授
②	5/24	口からつくる健やかな育ちと加齢	福田 理 (ふくだ らい) 歯学部特殊診療科教授
③	5/31	現代の子育てと親育ち —子どものSOSに耳を傾けよう!—	江口 昇男 (えぐち のりお) 心身科学部教授
④	6/7	寺子屋の教育を考える	高木 靖文 (たかぎ やすふみ) 教養部教授
⑤	6/14	見て理解するアレルギー —なおし方、ふせぎ方を求めて—	古野 忠秀 (ふるの ただひで) 薬学部准教授
⑥	6/21	「いのち」をはぐくむ仏教 —人間の尊厳と臓器移植—	木村 文輝 (きむら ふんき) 教養部准教授



ラオス副首相、
本学楠元学舎にある
ラオス人民共和国
名誉総領事館を訪問

その後、本学ラオス研究所の教授らと歓談され、日本の方々のラオスに対する理解が益々深まるよう今後とも協力をし、希望を述べられました。その際、副首相一行に本学ラオス研究所編集の「ラオス国、理解のために」の本が贈呈されました。副首相一行は、日本語で書かれた、詳しいラオス国紹介の本にとても喜ばれました。また、本学が導入しているインターネットを通じて学習システムが国立ラオス大学医、歯学部も運用される予定とのことで、実際に学習システムを運用しているところを前田教授より説明を受けられた。システムの視察をされたトンルン副首相は「ラオスの教育分野はまだこれから。愛知学院大学と協力しながら、ラオスの学術機関を活性化させたい」と今



後もラオス国の公式機関として図書出版に尽力頂きたい」と話された。
(注) ラオス人民共和国名誉総領事館は平成十五年(2003年)十二月のブニヤン首相来日の折、両国の国交樹立五十周年を記念し、わが国で初めてラオス国名誉総領事館を愛知学院大学楠元学舎に開設し、その後、平成十七年(2005年)三月一日には、開設式典及び小出学長名誉総領事就任披露を開催し、ラオス研究所(引田弘道所長)は同年4月1日に設立され、両国の交流に務めている。

老施協 第4回「60歳からの主張」で佳作入賞



(いまのふゆき)
今尾 信行さん・68歳

10分間の休憩時間に大学構内の端から端へ移動するのは、68才の私にはかなりの負担です。現役の学生君の授業に混じって受ける開放講座に魅せられて6年目、文学部、商学部、法学部などの気に入った学科をつまみ喰いしているのが、教室の移動が付きまといます。お釈迦様の生き様に感心した次ぎは、ジェンダーの社会に憤慨し、ビジネス関連授業では、時には先生の求めに応じて、社会人時代の経験談を披露したりと、知的好奇心を揺さぶられる雰囲気にはたまる日々です。講義が終わると、こんどは部屋に駆けつけます。2年前から部活(クラブ活動)にも入れていただき、美術部で活躍です。イヤ、ホント。昨年の学園祭(大学祭)には、わが美術部は焼きそばの屋台を出し、私は、年がらなく仮装して客引き役を受け持ち、好評をいただきました。年に数度あるスケッチ合宿にも参加し、深夜まで若者の恋の悩みの聞き役にたりすることもあります。もちろん本業?の絵画は、学内外で開催される展示会には、必ず出展するようにしています。年少のころプロの画家に習った経験が少しあり、時には若者が「いいキャラしてるな!」ってほめてくれる作品が出来上がることもあります。学外の展示会などでギャラリーの方が「美術の先生でいらっしゃいますか?」なんて間違われることがあり、説明に困ることがありますが、部員はみな仲間として分けへだてなく付き合ってくれるのがうれしいのです。

会社生活を退職後は、ゴルフもバチンコもできない暇を持て余し、高年者向きのカルチャー教室や公開講座に熱心に出席していましたが、どうしても講義が受身であり、周囲が同世代ばかりで陰気臭く馴染めませんでした。そんなとき、学生の授業に混じって受講する開放講座を知り、さっそく受講の手続きをとったのです。現代の学生君は、半世紀前の私の経験した大学とまったく違った行動と環境の中にいるので、最初は戸惑いました。授業が始まってというより、殆ど終了間際に悪びれもせず入室してきたり、飲み食いしたり(さすがに喰いのほうは先生が注意しました)何でもありに思えました。でも、考えようによっては、遅れてでも授業に出席する熱心さ、食事も抜いて授業に駆けつける健気なさと受け取ることも出来ます。

部活のコンパや合宿のとき、年配者のわたしに生活の知恵を求めたり、バイトと勉強の両立の難しさを嘆いたり、とてもかわいいところもあるのです。講義のレポートをインターネットで提出を求められたり、板書を書き取るのではなく、パソコンを操作するなど、隣の席の学生君に教えてもらいながらの授業もあり、気を抜くことは出来ません。年金生活でカミさんと二人暮らし。孫はいても皆忙しくてなかなか遊びに来てくれない。夕食当番だけでは暇を持て余すわたしに、生きがいを与えてくれたのが、この開放講座でした。聴講生でもないで単位認定は無く、望まなければ期末試験もパスできますが、がんばってテストを受けるようにしています。

地球の歴史、生物の進化、私の教え、少子高齢化社会、差別やジェンダー、みな開放講座で知識を受け、問題意識を持ちました。

金儲け、人付き合いなどに40年も費やしてきたのが悔やまれますが、真の教養の習得に間に合ってよかったと感謝しているこの頃です。カルピスソーダなんて飲み物は、ビール、ワイン、チューハイしか知らないわたしにとって異文化そのものです。コンパに参加しなければ、一生味あわずに人生を終わっていたことでしょう。(完)

平成19年度「第12回開放講座」修了式開会式社会人聴講生受講者数は延べ千六百六十名

本学では、生涯学習の一環として、一般の授業を開放して社会人聴講生を受け入れ、学生と一緒に授業を受ける、全国でも珍しい社会人聴講制度を平成8年から始めた。

現在では先生方の協力により、平成19年度大学(春秋)学期で社会人聴講生開講科目数は計330科目となり、開講科目も多く、聴講生からは科目を選べることで好評です。今年度の受講者数は延べ1162名でした。去る平成20年1月21日(月)秋学期授業最終日に、日進学舎の本部棟大会議室(3F)にて「第12回開放講座修了式」が開催された。社会人聴講生約1000名が参加、大学側から加藤教務部長他各部長が出席、教務部

モンゴル人留学生に
奨学金授与式開催

この度、モンゴル国立がんセンターのDunee Jagalsakhia先生が、名古屋で研修、視察のため来名され、亀井基金の奨学金が小出学長より手交されました。先生は1ヶ月の研修後帰国され、モンゴルがんセンターの泌尿器部門



長から修了証書が聴講生を代表して笠松悠紀子氏に授与された。続いて笠松悠紀子氏から聴講生を代表して大学側に謝辞が述べられ修了式は盛会裡に終了した。



の長に成られるとのこと。修了式は愛知医科大学泌尿器講座のご協力により当科で行われ、これで亀井基金でのモンゴル国立がんセンターの先生の名古屋での研修は4人目となります。また、夏目教授を始めとする口唇口蓋裂協会の皆様の変わらぬ支援に感謝いたします。

2日目に実施された分科会では、「筋力トレーニングとパフォーマンス」(境田雅章教授)、アスレチックトレーニング実技(稲葉哲教養部教授、高田正義心身科学部准教授)、「クラブの企画運営」(平賀正剛経営学部准教授)、「クラブの組織管理」(伊藤徳正商学部准教授)、「期待される社会人像」(村田尚生総合政策学部准教授)、「危機管理」(杉本一敏法学部准教授)、「モチベーションの向上」(佐藤悦成文学部教授、北田豊治教養部准教授)の7班に分かれ講習が実施された。どの分科会も熱心な指導助言者のもと、参加学生も真剣に受講していた。

また、各クラブを団体競技系、武道系、アウトドア系、個人競技系、研究発表系、音



今、研修に参加した各クラブ代表者には、今後の活動に於いて、クラブの持つエネルギーを一般学生へ、大学へ、地域社会へ還元し、研修の成果を存分に発揮してくれることに願う。

開講式で黒神聴学生部長から「大学における「課外活動」について」我々は、大学の変革に貢献できるか」と題して基調講演があり、引き続き全体講習会では、「じぶん」を探そう「自我状態の把握」を高田正義心身科学部准教授、「リーダーシップをとるため」を稲葉哲教養部教授、「健康管理の必要性」を北田豊治教養部准教授からそれぞれ行われた。

2日目に実施された分科会では、「筋力トレーニングとパフォーマンス」(境田雅章教授)、アスレチックトレーニング実技(稲葉哲教養部教授、高田正義心身科学部准教授)、「クラブの企画運営」(平賀正剛経営学部准教授)、「クラブの組織管理」(伊藤徳正商学部准教授)、「期待される社会人像」(村田尚生総合政策学部准教授)、「危機管理」(杉本一敏法学部准教授)、「モチベーションの向上」(佐藤悦成文学部教授、北田豊治教養部准教授)の7班に分かれ講習が実施された。どの分科会も熱心な指導助言者のもと、参加学生も真剣に受講していた。

また、各クラブを団体競技系、武道系、アウトドア系、個人競技系、研究発表系、音

2月21日、23日の日程で、長野県大町セミナーハウスに於いて、各クラブのリーダーを対象とした「第40回リーダーシップトレーニング」が、運動部47団体・文化部43団体・一般学生1名の学生91名、指導助言者の教職員17名、合計108名の参加により開催された。

2日目の夜に行なった「懇親会」では、各クラブ間による情報交換・交流がなされ、運動部・文化部の垣根を越え絆を深めていた。

最終日の閉講式では、各系統別懇談会の代表学生による懇談内容を発表し、高田正義心身科学部准教授の総括講評、稲葉哲教養部教授の閉会の辞で全行程を終了した。

今、研修に参加した各クラブ代表者には、今後の活動に於いて、クラブの持つエネルギーを一般学生へ、大学へ、地域社会へ還元し、研修の成果を存分に発揮してくれることに願う。

「第40回リーダーシップトレーニング」大町セミナーハウスで2泊3日

楽系、公演・資格取得系の7分野に分けた「系統別懇談会」では、学生自身による議事進行で「同系クラブがもっている運営上の問題点・解決策」として、目標設定・部員の確保・モチベーションの向上など、幅広い範囲の話題について意見交換がなされた。

就職体験記

「たくさんの支え」



法学部法律学科
小山幸恵

公務員になろうと決意したのは、大学3年生の春でした。利益にとらわれず、多くの人々の役に立てるといふ仕事に大きな魅力とやりがいを感じたからです。

公務員試験はとにかく、勉強する科目が多く、専門科目に関しては、独学では難しいと判断し、すぐに公務員の専門学校に通い始めました。それから大学と専門学校のダブルスクール生活が始まりました。しかし、それは私が想像していた以上に辛いものでした。

どれだけ勉強しても終わりのない膨大な勉強量、そして、自分よりも後から就職活動を始めた民間希望の人たちの方が先に内定をもらっていくというプレッシャーに押しつぶされそうになり、何度も投げ出したいく気持ちになりました。

しかし、私が最後までやり遂げ、希望の市役所から合格通知を受け取ることができたのは、いつも励ましてくれた同じ公務員志望の仲間や友達、家族の協力、そして親身になって相談にのってくれたキャリアセンターの方々のおかげです。

公務員試験は、どれだけ辛い勉強に耐え、諦めずにやり遂げるかです。この壁を乗り越えられたことにより自分に自信を持つことができました。

この経験を今後活かすと共に、私を支えてくれた多くの方々にお礼を言いたいです。

「自分探し」



経営学部経営学科
青野優子

私が就職活動を意識してから最も心掛けていた点は「人と差をつける」です。

難しい資格に挑戦したり、インターンシップに参加し期間を延長して本格的に法人営業を体験しました。就職活動中は一番前の席に座り積極的に質問をしたり、面接では自分だけのエピソードを出すようにしました。こういった意気込みを企業に伝える事も大切だと思いました。

私の反省を通して皆さんに伝えたい事が2つあります。1つ目は「自己分析は早めに!」です。私は自己分析を始めるのが遅かったせいでエントリーシートの段階で数十社と落ちました。これが通過できないと説明会にすら参加できない企業もあるので早めに自己分析を始め、1社でも多く会ってほしいと思います。2つ目は「様々な業界を見る!」です。私は食品業界を中心にみてきましたが、内定先は違う業界でした。友人に社風が良いらしいと聞き、エントリーしたのがきっかけからです。どの業界に運命の企業がいるかわかりません。志望している業界が本当に合っているのか確信する為にも様々な業界を見てほしいと思います。

就職活動は自分が大きく成長できる機会です。精一杯自分と向き合って、後悔のない就職活動にしてほしいと思います。

「キャリアセンターを利用して」



商学部産業情報学科
平野智子

大学で教職を学び、将来は教員となることを目指していました。しかし、教育実習で教員の大変さと難しさを痛感しました。教員になれなかったらという思いは常にあり、一般企業就職との狭間で揺れ動いていました。その間にも親しい友人たちは就職先を決めていき、焦りの気持ちもありました。

このような気持ちで挑んだ教員採用試験は不合格。8月の間は就職活動をする気にもなれず、将来について悩む日々が続きました。

でも、このままではやっぱりいけない。経済的にあまり余裕がない私は一般企業に就職しようと思い立ち、就職活動を9月から本格的に始めることにしました。しかし、もうその頃になると新卒生の就職活動サイトの業種がもう限られてきていました。そこで、大学のキャリアセンターの方に相談にのって頂き、求人を探そうとしました。

教職のために頑張っていた日々はマイナスではなく、プラスになるものだという事を相談を重ねて知ることができ、大学生活での日々を自信につなげることができたのです。

そして、学校推薦の話を受け、無事地元の優良企業の事務の内定を頂くことができました。

目指していた将来の道が閉ざされても、気持ちを切り替えることで別の新たな道が開けたのです。

「失敗は成功の一部」



英語コミュニケーション
学科2年・短期大学部
小笠原末香

私は当初からトヨタ自動車に入りたいという思いがあったのですが、こちらの募集は学内推薦のみで一般企業より選考会が遅かったため、私の就職活動は自動車関係を中心に合同企業説明会や各企業の説明会に参加をするという形でスタートしました。

しかし、選考会にも何度も足を運んだのですが甘く考えていたせいか見事に落ち続けていました。今思えば、この頃は自己分析も曖昧、企業研究も中途半端と就職活動というものをなめていたのだと思います。そして、そのことに気がつかないまま学内選考の日を向かえる事になってしまい、案の定面接でとんだ失敗をし泣きを見るはめになってしまいました。たくさん泣いて泣いて、私はそこでやってやる、見かえてやる、と決意しました。そこからが私の就職活動の始まりです。すべてにおいて一から見直しました。

問題に直面したとき、悲観的にとらえるか、前向きにとらえるかは大きな差になると思います。いやなこと、つらいことにぶつかったときに、「どうすればいいか?」と考えて改善のヒントにできる人なら、いやなことやつらいことでさえ飛躍するチャンスにできるだろうと思います。就職活動中は様々な壁にぶつかると思いますが、ものごとは前向きに臨むことではじめて可能になると思います。失敗を失敗のまま終わらせずにどんどん挑戦しつづけて闘う力を鍛え、満足のいく就職活動にして貰いたいと思います。

「自分探し」



心身科学部健康科学科
中島涼子

私の就職活動は大学3年間振り返り何をしていたのか、どう過ごしたのか思い出しに浸りながら始まりました。今までサークルや学校の勉強や実習を頑張りその中で一番頑張った事=思い出し深い事を思い出して掘り下げ自己分析しました。

サークル活動やバイト、勉強でどう成長したのか何を学んだのか、履歴書の決められた行数の中で簡潔に書くのがとても大変でした。履歴書1枚でまず判断されるのでこの土台作りは時間をかけ、完成させました。

私は、様々な業界の説明会を開きに行き面接を受けていましたがイマイチこた!と運命の会社めぐり合えず就活ブルーになったり手持ち企業が0になってリスタートを切ったりと波乱万丈でした。友達と夜な夜な電話で話し励ましあい、お互いの頑張りを褒めあい慰めあい、友達の大切さも同時に改めて知りました。そして、政府系金融会社に内定を頂きました。キャリアセンターでも優良な企業と教えて頂き自分にとって働きやすい場所と考えトータル的に決めました。落ち込んだり嬉しかったり一喜一憂が激しい就職活動ですが終わると晴れ晴れした気持ちになり頑張ったと思えます。必ず運命の会社はあります。

「クラブ活動を通じて」



情報社会政策学部
深澤由華

就職活動の面接は1回が約30分程度という、とても短い時間です。そんな短い時間の中で、自分という人間をどうやって相手に説明するのか、自分の今まで経験してきたことをどうやって相手に伝えるのか、ということはずごく難しいことだと思いました。

誰もが最も悩んでしまうポイントであり、面接官が最も知りたいポイントであると思います。

「あなたが大学生活で学んだことは何ですか」と聞かれて、あなたはなんと答えますか。私は大学生活4年間バスケットボール部のマネージャーをしていました。ルールやチームプレイの大切さなどバスケットのことはもちろん、授業単位や卒業後の進路、将来の悩みなどたくさんのことを先輩とチームのみんなに教わりました。

私は自分が毎日の練習や試合で感じたこと、部活動を通じて得たものを面接官に伝えました。

決して強豪チームではありませんでしたが、4年間続けてきた持続力、実体験で得るものの多い部活動は私にとって大きなアピールポイントとなりました。



平成19年度卒業生の主な業種別就職・内定先一覧(2月25日現在)

【飲料・たばこ・飼料製造業】
(株)伊藤園
【各種商品小売業】
イオン(株)
(株)サークルKサンクス
(株)セブン-イレブン・ジャパン
(株)名古屋近鉄百貨店
(株)ハロー
名鉄協商(株)
(株)ヤマナカ
ユニー(株)
【貸金業・投資業等非預金信用機関】
(株)セントラルファイナンス
日立キャピタル(株)
【鉄鋼業】
尾張精機(株)
(株)小本曾工業
【鉄道業】
東海旅客鉄道(株)
西日本旅客鉄道(株)
【電気機械器具製造業】
中電電機(株)
河村電器産業(株)
朝日レントゲン工業(株)
【道路貨物運送業】
濃飛倉庫運輸(株)
鈴与自動車運送(株)
東陽物流(株)
丸全昭和運輸(株)
郵便事業(株)
菱和ロジテム(株)
カリツー(株)
日本ロジテム(株)
【道路旅客運送業】
岐阜乗合自動車(株)
【不動産取引業】
住友不動産販売(株)
中電不動産(株)
三井不動産販売(株)
【輸送用機械器具製造業】
アイシン・エイ・ダブリュ(株)
東豊工業(株)
林テレンプ(株)
(株)三五
三ツ星化成品(株)
豊精密工業(株)
(株)今仙電機製作所
(株)協豊製作所
(株)黒田精機製作所
(株)コージツ
第一工業(株)
万能工業(株)
【ガス業】
東邦ガス(株)
ティボー(株)
【ゴム製品製造業】
イダ産業(株)
【その他の卸売業】
アシックス中部販売(株)
(株)シーエス薬品
丸善(株)
シンコール(株)
(株)植屋
花王カスターマーマーケティング(株)
(株)クラヤ三星堂
(株)スズケン
中北薬品(株)
【その他の事業サービス業】
静銀ビジネスクリエイト(株)
日本リガメント(株)
ヒューマンリソシア(株)
アデコ(株)
【その他の小売業】
ガステックサービス(株)
(株)日本オプティカル
(株)ヒマラヤ

愛眼(株)
(株)キクチメガネ
(株)コメ兵
(株)三交クリエイティブ・ライフ
(株)三洋堂書店
(株)スキ薬局
日本トイズラス(株)
(株)三城
【その他の生活関連サービス業】
(株)JT B中部
(株)エイチ・アイ・エス
東洋ツーリスト
(株)トヨタツーリストインターナショナル
名鉄観光サービス(株)
船泊トラベル(株)
近畿日本ツーリスト(株)
トップツアー(株)
(株)日本旅行
【パルプ・紙・紙加工品製造業】
ダイナパック(株)
【プラスチック製品製造業】
三井(株)
【衣服・その他の繊維製品製造業】
トリンプ・インターナショナルジャパン(株)
(株)ユニクロ
【一般機械器具製造業】
新明工業(株)
(株)東海理化学
富士精工(株)
(株)マキタ
エンシユウ(株)
新東工業(株)
(株)関ヶ原製作所
(株)テクノワシノ
東芝テック(株)
豊和工業(株)
ホシザキ電機(株)
(株)牧野フライス製作所
大和冷機工業(株)
(株)フジキン
【印刷・同梱運業】
(株)岩田レーベル
竹田印刷(株)
東洋印刷工業(株)
【飲食料品卸売業】
中部食糧(株)
(株)トーカン
(株)菱食
【運輸に付帯するサービス業】
キムラユニティ(株)
トレーディア(株)
【映像・音声・文字情報制作業】
(株)東海テレビプロダクション
【化学工業】
(株)ノビア
アイカ工業(株)
キッセイ薬品工業(株)
(株)三和化学研究所
ホーユー(株)
【家具・じゅう器・機械器具小売業】
(株)ギガス
(株)エイデン
(株)エスケーアイ
(株)大塚家具
(株)カーマ
(株)ニトリ
ヤマダ電機(株)
【家具・装備品製造業】
クリナップ(株)
【各種商品卸売業】
富山電気ビルディング(株)
(株)バルテック
【機械器具卸売業】
(株)井高
(株)中部扇港電機
(株)日立産機システム

(株)三菱電機ライフネットワーク
(株)八神製作所
(株)大塚商会
(株)進和
イソコジャパン(株)
カテナ(株)
ジェコス(株)
杉本商事(株)
杉本電機産業(株)
ソニーリゾナルセーブルス(株)
グアトームイー(株)
辰巳屋興業(株)
トヨタL&F中部(株)
トヨタ部品愛知共販(株)
トラスコ中山(株)
ブラザー販売(株)
丸紅インフォテック(株)
三浦電気(株)
三菱電機住環境システムズ(株)
メルダシステムエンジニアリング(株)
矢崎総業(株)
ヤマハ発動機販売(株)
リコー中部(株)
(株)東陽
(株)ナ・デックス
(株)丸九
中部富士電機(株)
名古屋電気(株)
明治電機工業(株)
【機械等修理業】
愛電工機エンジニアリング(株)
【金属製品製造業】
(株)青山製作所
豊田スチールセンター(株)
豊臣機工(株)
藤田螺子工業(株)
(株)マルゼン
(株)東郷製作所
(株)八幡橋
リンナイ(株)
【建築材料・鉱物・金属材料等卸売業】
(株)米津物産(株)
(株)カノークス
住友電工ツールネット(株)
三井物産金属原料(株)
森田興業(株)
(株)ヤマサ総業(株)
(株)オータケ
初徳商事(株)
八木鋼材(株)
渡辺パイプ(株)
【広告業】
表示灯(株)
【情報サービス業】
エヌ・ティ・ティ・システム開発(株)
エン・ジャパン(株)
(株)ジヤステック
(株)第一コンピュータリソース
ダイワボウ情報システム(株)
中部日本電気ソフトウェア(株)
ディップ(株)
トーテックアメニティ(株)
トランス・コスモス(株)
日本インフォメーション(株)
日本テクノストラクチャア(株)
日本電計(株)
(株)バンダイナムコゲームス
(株)日立システムアンドサービス
富士ソフト(株)
(株)ユーフィット
(株)リクルート
【情報通信機械器具製造業】
(株)アイホン
【繊維物・衣服・身の回り品小売業】
(株)鈴丹
藤久(株)

【食料品製造業】
井村屋製菓(株)
フジフングループ本社(株)
イチビキ(株)
ダイニチ食品(株)
カネ美食品(株)
敷島製パン(株)
日本食研(株)
【水運業】
(株)上組
トヨフジ海運(株)
名港海運(株)
【精密機械器具製造業】
(株)ニテック
【繊維・衣服等卸売業】
(株)三陽商会
万兵(株)
イギン(株)
【倉庫業】
伊勢湾倉庫(株)
三井倉庫(株)
豊通物流(株)
【総合工事業】
(株)シノケン
熊谷組
名建設(株)
前田道路(株)
三井ホーム(株)
積水ハウス(株)
大和ハウス工業(株)
東建コーポレーション(株)
バナホーム(株)
矢作建設工業(株)
(株)レオパレス21
【他の事業サービス】
(株)SMBCセンターサービス
【宝業・土石製品製造業】
チヨダウテ(株)
日本耐酸塩工業(株)
【通信業】
兼松コミュニケーションズ(株)
【物品貸貸業】
共友リース(株)
東銀リース(株)
(株)アクティオ
太陽建機レンタル(株)
(株)レント
【放送業】
ひまわりネットワーク(株)
【木材・木製品製造業(家具を除く)】
大日本木材防備(株)
【郵便局】
郵便局(株)
【政府系金融業】
国民生活金融公庫
【銀行業】
(株)愛知銀行
(株)大分銀行
(株)大垣共立銀行
(株)岐阜銀行
(株)山陰合同銀行
(株)清水銀行
(株)十六銀行
(株)仙台銀行
(株)第三銀行
(株)東海東京証券(株)
(株)名古屋銀行
(株)百五銀行
(株)三重銀行
(株)三井住友銀行
(株)三菱東京UFJ銀行
(株)りそな銀行
【協同組織金融業】
愛知信用金庫
磐田信用金庫
遠州信用金庫

岡崎信用金庫
金沢信用金庫
蒲郡信用金庫
岐阜信用金庫
桑名信用金庫
瀬戸信用金庫
西濃信用金庫
関信信用金庫
高岡信用金庫
知多信用金庫
東海労働金庫
東濃信用金庫
豊川信用金庫
豊田信用金庫
豊橋信用金庫
西尾信用金庫
八幡信用金庫
浜松信用金庫
半田信用金庫
尾西信用金庫
福井信用金庫
碧海信用金庫
焼津信用金庫
【協同組合(他に分類されないもの)】
あいち海部農業協同組合
愛知北農業協同組合
愛知共済農業協同組合連合会
愛知県厚生農業協同組合連合会
愛知県信用農業協同組合連合会
愛知知多農業協同組合
あいち中央農業協同組合
愛知西農業協同組合
あいち三河農業協同組合
あいち尾東農業協同組合
伊勢農業協同組合
大井川農業協同組合
尾張中央農業協同組合
海部東農業協同組合
加賀農業協同組合
蒲郡市農業協同組合
岐阜市農業協同組合
小松市農業協同組合
鈴鹿農業協同組合
全国共済農業協同組合連合会愛知県本部
全国共済農業協同組合連合会岐阜県本部
全国共済農業協同組合連合会三重県本部
とびあ浜松農業協同組合
豊橋農業協同組合
なごや農業協同組合
西春日井農業協同組合
西美濃農業協同組合
福井丹南農業協同組合
めぐみの農業協同組合
若狭美浜農業協同組合
【保険】
清水総合保険(株)
(株)損害保険ジャパン
日本生命保険相互会社
明治安田生命保険相互会社
あいおい損害保険(株)
【証券】
SMBCフレンド証券(株)
安藤証券(株)
新光証券(株)
東海東京証券(株)
東洋証券(株)
三菱UFJ証券(株)
藍澤證券(株)
【地方公務員】
愛知県警察本部
愛知県人事委員会(警察職員)
愛知県人事委員会(小中学校教員)
愛知県人事委員会(職員)
愛知県教育委員会(養護教諭)
安城市役所

石川県警察本部
稲沢市役所(消防職)
尾張旭市役所
海津町役場
春日井市役所
川辺町役場
岐阜県警察本部
岐阜市役所
警視庁
静岡県教育委員会(中学校教員)
静岡県警察本部
鈴鹿市消防本部
瀬戸市役所
多治見市役所(消防職)
知多中部広域事務組合消防本部
常滑市消防本部
長久手町役場(消防職)
名古屋市教育委員会(養護教諭)
名古屋市役所(消防職)
日進市役所
浜松市役所(消防職)
東浦町(中学校教員)
藤枝市役所(消防職)
碧南市役所
三重県警察本部
南知多町役場
三好町役場
美和町役場
【国家公務員】
法務省名古屋矯正管区
防衛庁自衛隊
【政治・経済・文化団体】
愛知県国民健康保険団体連合会
愛知健康増進財団
愛知県中央信用組合
愛知商工連盟協同組合
愛知中小企業家同友会
豊橋商工信用組合
名古屋商工会議所
(社)愛知県医師会
(社)浜松市医師会
(社)中部建設協会
(社)日本貨物検査協会
日本医療事務センター
富山医療生活協同組合
社会福祉法人 大垣市社会福祉事業団
【医療業】
社会福祉法人 愛知慈恵会
(医)財団 愛泉会 愛知国際病院
(医)財団青木会 青木記念病院
(医)知邑会 岩倉病院
(医)社団 博美会 神奈川クリニック
(医)北辰会 蒲郡厚生館病院
(医)永仁会 佐藤病院
(医)三九会 三九朗病院
(医)社団 喜生会 新富士病院
(医)尾張健友会 千秋病院
(医)大雄会
(医)マリオ・ネット 富田整形外科
(医)並木会 並木病院
(医)松徳会 花の丘病院
(医)平谷こども発達クリニック
(医)東恵会 星ヶ丘マタニティ病院
(医)財団 親和会 八千代病院
(医)和合会 和合病院
(特医)慈恵会 相澤病院
(特医)厚生会 木沢記念病院
阪野病院
森心身医学クリニック
【学校教育】
(学)藤田学園
(学)愛知学院
(学)相山女学園

平成20年度健康診断(ご案内)

平成20年度の定期健康診断を下記のとおり実施いたします。
期間内のいずれかの日時に必ず受診して下さい。
受診当日は、学生証・筆記用具・眼鏡(眼鏡使用者のみ)を持参して下さい。

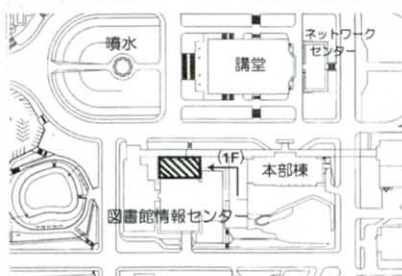
■日 時

学 部	4年生
大学院	修士2年生・博士3年生
法科大学院	3年生
平成20年4月1日(火)～4月3日(木) 午前9時30分から午後4時30分まで	

学 部	1・2・3年生
大学院	修士1年生・博士1・2年生
法科大学院	1・2年生
平成20年5月19日(月)～5月24日(土) 午前9時30分から午後4時まで ※5月24(土)は午後1時で終了します。	

■会 場

図書館情報センター本館1階閲覧室



■注意事項

※上記の日程で受診できない方は、外部の医療機関で健診を受け、保健センターに提出して下さい。
(用紙は保健センターにあります。外部での検査費用は自己負担をお願いします。)
また平成20年3月以降に外部の医療機関で健診を受けた方は、その診断書の写しを提出して下さい。
(この件に関するお問い合わせ先)
愛知学院大学 保健センター

名鉄バス通学定期券料金の補助についてのご案内

本学では、環境問題を重視し、CO2削減・交通渋滞の緩和及び交通事故防止の観点から、学生の公共交通機関の利用を勧めております。

つきましては、本年4月から名鉄バスの藤が丘～大学、赤池～大学、長久手古戦場～大学間の各路線の通学定期券利用者に限り、下記のように定期券料金の20%を大学が補助することになりました。

【料金表】

区 間	藤ヶ丘一大学 (片道240円)			赤池一大学 (片道320円)			古戦場一大学 (片道170円)		
	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月
通常定期券料金	8810円	25100円	47570円	11380円	32430円	61430円	6240円	17780円	33690円
20%割引後	7050円	20080円	38060円	9100円	25940円	49140円	4990円	14220円	26950円
割引額	1760円	5020円	9510円	2280円	6490円	12290円	1250円	3560円	6740円

※ただし、定期券の販売は、大学構内第3食堂2階 名鉄観光 愛知学院トラベルセンターでのみ取り扱います。

※新入生については、入学式後より上記場所にて定期券の販売を行います。詳細は新入生オリエンテーションで説明します。

※2年生以上については、4月1日以降、上記場所にて定期券の販売を行います。詳細はオリエンテーションで説明します。3月中に購入されるときは補助されません。

ポンド大学
交換留学体験記

文学部国際文化学科二年 市川聖子

留学という夢が叶い、私は昨年の9月から12月までオーストラリアのゴールドコーストにあるポンド大学に交換留学生として留学してきました。出発の日までは期待や不安が交錯していましたが、現地に到着したら不安よりも期待のほうが大きくなり、留学生生活を楽しく思いました。

ホームステイ先はとっても居心地がよく、自分の家のようでした。ホストマザーは、学校の出来事を話し、ニュースやテレビの話題を話してくれて、文法間違いも教えてくれてとても助かり、楽しく過ごすことができました。私がテスト前で自分の英語に自信が持てなかつたときは、自信を持たせてくれました。私が理解できない単語やアクセントがあると、分かりやすく言ってくれてとても助かりました。アメリカ英語との違いも教えてくれ、私に、米語と英語の違いの興味を持つきっかけを与えてくれました。

学校はとっても綺麗などろで驚きました。また、ポンド大学に通っている大学生と同じ敷地内で学べたことは良かったです。海外からの留学生が多く、異文化を知り、日本をより知ろうと思うことができました。私が入ったクラスは、少しレベルの上のクラスでした。このクラスに入った当初、自分自身、最後までこのクラス

についていけるか心配で不安でした。そして、どうして入れたか不思議でした。授業は簡単ではなく、ついていくのに必死でした。クラスでは、アカデミック英語を主に学び、EITというテスト対策が中心のクラスでした。クラスでも文化の違いも学びつつ、英語を学びました。授業中、周りが分かっている中、自分だけ分からない、ついていけないことがよくありました。ゆっくりと考えれば分かることも、その場ですぐやるというのが中々できませんでした。どうして、このクラスにいるのだらう?と何度も思いました。また、自分の英語力は上がっているのかと疑問に思っていることも多かったのです。

ですが、クラスは楽しく、面白く、一回も逃げ出したい気持ちもなく、他のクラスに行きたいとは思いませんでした。3ヶ月半という留学期間はとても早く、たくさん友達ができ、充実していました。時には、回りと英語力を比べたり、焦ったりした時期もあったけれど、この短い期間でたくさん友達を作った、ホストマザーから学び、そして、英語も学びました。今回、留学で学んだことを今後いかしていきたいと思います。最後に、周りの英語力が上がっているのが分かるにつれて、不安になり焦りました。私がやっていることは、英語力があがることなのだろうか考えたときもありました。そのような時、友達や、自分の思っているとおりにやれば良いと思うと言ってくれました。また、落ちればかりではなく、少ない留学生生活を楽しくしようと思ったり、そのような不安は少しずつ小さくなっていました。そうしたら、気が楽になりました。



それからは、テレビのニュースをよく聞くようにしたり、単語帳を工夫してみたりと、自分なりにやってみました。そして、コース終了のときに貰った成績は、中間のときに貰った成績表よりも苦手分野であったところが伸びていてとても嬉しかったです。先生にも、伸びていると言われたとき、やっと自信をもつことができました。その時、初めて、多少なりと、英語力が上がったと実感しました。また、自分の思ったことをやってよかったとも思いました。私はEITを受験したのですが、そのEITのスコアにも現れていてとても嬉しかったです。英語を学ぶというのは、授業だけでなく、学校外の生活でも学んでいるのだと改めて感じました。そして、英語を学ぶだけでなく、その国の文化も同時に学んでいるのだと思いました。

の海外経験となったので、期待と不安の両方を抱えながらの留学でした。



ホームステイ先にはすでにフィンランドからの留学生が来ており、年も同じですぐに仲良くなることができました。英語力は彼女のほうが私よりも断然上で、意思疎通に苦労することもありませんでしたが、本来なら会うことも不可能な人と英語を通じて会話をすることができたことはとてもうれしく思いました。ステイ先では、彼女とホストマザーと私の三人で暮らしていました。ホストマザーはヘアドレッサーで、休日には親戚や友達がお客さんとして来ることもよくありました。

またオーストラリアにいる人とはとにかくパーティー好きが多いというのを感じました。現地のオーストラリア人はもちろん、同じ留学生同士でもパーティーをしてそこで仲良くなるというのが普通に行なわれていました。私も、台湾人の男子が主催のホームパーティーに参加したことで、クラスメートとは別の友達をたくさん作ることができました(写真はその時のもの)。

になると週に一度、終日テストの日が設けられていました。私のクラスは、一般英語はできている前提で、アカデミック英語を学ぼうという学問意識の高い人ばかりで、時に自分のできる悪さに苦しむこともありました。自分の英語力はまだまだ全然足りないと思いにしめて感じました。クラスを変えてもらおうかとも考えましたが、先生や友達に「ここにいて頑張ればきっとこのびる!!」と支えてくれたこともあり、できる限り頑張ってみようと思えました。その結果、プレゼン発表での構成、ライティングの文章の構成などで模範として示されたりするなど、少しずつですが成果がでるようになってきました。もちろん、まだまだ課題はいくらでもありますが、この三ヶ月間で日本ではなかなか味わえない英語学習ができたと思います。先生や、ホストマザーにも「成長したね」と言われたときは本当にうれしかったです。

幸運なことに、今回の留学では辛いことよりも楽しいことが多かったというのがあります。それは、大学、恩師、友人、ホストファミリー、家族や周りの方の多大な支えのおかげでした。自分ひとりでは決してうまくいかなかったと断言できます。全ての方に感謝の気持ちでいっぱい입니다。今後、学んだ知識を生かし、さらにのびせられるように努力していきたいと思っています。

3年生の就職活動「出陣式」を開催しました。3年生の就職活動の本格化に向けて1月31日に「出陣式」を行いました。マンドリンクラブによるオープニング演奏の後、壇上には各学部長、

サンフランシスコ・ジャイアンツ専属
アスレチックトレーナー 大庭さん来校

一月十一日(金)に「愛知学院大学だより 第156号(平成十九年七月発行)」でも紹介した、本学文学部国際文化学科卒業生の太田有希也さん(現 サンフランシスコ・ジャイアンツ専属アスレチックトレーナー)が本学の運動系クラブ学生や英語に興味のある約二十名の学生に対して、自身のプロフィールや所属球団での仕事内容について話していただいた。中には、何度も手を挙げて質問をする熱心な学生もあり、当初予定していた時間を大幅に延長して対応していただいた。また一月二十一日(月)には、肩に違和感を訴える学生に対し、的確なアドバイスも行っていた。

今後、大庭さんのメジャーでの活躍を期待したい。



心身科学部健康科学科第1回卒業論文発表会実施

去る1月21日(月)17時~18時20分まで日進学舎学院会館ホールにおいて、第1回卒業論文発表会が実施された。当日、心身科学部片山和男教授が座長になり、心身科学部長佐藤祐造教授の挨拶の後、各ゼミの代表者8人が研究成果を披露した。ゼミの代表者が発表したテーマは

- ①「中学生における体格と体力の発育・発達」大板慎(佐藤ゼミ)
- ②「オリーブ油の生活習慣に対する効果の検討」朝岡真範(村松ゼミ)
- ③「子どもの体力低下について〜どう改善していくか〜」平藤知恵(玉川ゼミ)
- ④「禁煙表示と喫煙者の行動」神谷麻友(大澤ゼミ)
- ⑤「表情筋のトレーニングとその効果」浅岡哲兵(市原ゼミ)
- ⑥「テニスプレイヤーにおけるメンタルトレーニング効果について」伊藤沙弥香(高田ゼミ)
- ⑦「小学生のスポーツにおける習い事について:保護者の運動習慣と子供の運動習慣の関係から」北脇聖悟(長崎ゼミ)
- ⑧「バレーボール競技におけるブロックの心理状態に関する研究-相手セッターの配球予測とその対処-」北川祐介(片山ゼミ)など。

最後に心身科学部村松教授の講評が行われ、3・4年生の学生約200人が耳を傾けた。佐藤教授は「学生が研究に本格的に取りかかったのは昨年9月から。短い期間だったが内容は充実していた。来年は1年ぐらいかけて、より本格的な研究にしたい。」と話した。



日進キャンパスの雪の中で
山茶花の花が健気に咲いていました。

また、当日の様子をNHKのニュース(ほっとイブニング)として放映され、新聞紙上では毎日新聞、中部経済新聞に掲載されました。

キャリアセンター支援課長 中尾 猛